



学校図書館だより

9月号

令和5年9月
柏市立柏第五中学校
柏市学校図書館指導員
岩瀬 瞳

2学期が始まりました。9月になっても暑さは相変わらずですが、朝晩に吹く風には秋の気配を感じられるようになりました。秋の虫の声も聞こえるようになってきましたね。秋は読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などいろいろな楽しみを見つけることのできる季節です。体育祭や合唱祭などの行事もあり忙しい時期ですが、ほっとしたいときは学校図書館へどうぞ。いろいろな本をそろえてみなさんを待っています。



調べてみました！体育祭・運動会のはじまり



体育祭・運動会とは、学校や会社、市や町などで、集団でおこなう運動の行事。参加者が交流して仲よくなること、スポーツに親しみ、からだを動かすことで健康についての意識を高めることなどを目的とする。記録をきそい合うことを目的とするスポーツ大会とはちがう。徒競走、障害物競走、リレーなどの陸上競技や、玉入れなどのゲーム、ダンスなどがある。外国ではあまりみられない日本独特の行事となっている。学校行事としての体育祭・運動会が普及したのは、1885（明治18）年に初代文部大臣、森有礼がおこなった兵式体操からとされている。日本では、近代学校制度が発達するにつれて、学校の体育祭・運動会として普及した。（参考資料：『総合百科事典ボプラディア第三版 2』 ポプラ社 2021年）



中秋の名月



旧暦の8月15日の月のこと。現在の暦では9～10月頃にあたり、今年の中秋の名月は9月29日の満月になります。美しい月を見上げながら、ゆっくり秋を感じられるといいですね。

今月のおすすめ本

『井上ひさしの子どもにつたえる 日本国憲法』

井上ひさし 著 いわさきちひろ 絵
講談社 <323/イノ>

「憲法って何だろう？」と考えたことはありますか。この本は、憲法の大切さを伝えたいという思いから、井上ひさしが憲法の一番大切な部分をわかりやすく子どもたちに向けて語ったものです。なぜ憲法が大切なのか、なぜ簡単に変えてはいけないのか。自由に生きる、好きなものを選ぶ、大切な人と一緒にいる、当たり前のように思っている日常が保障されているのは、憲法と無関係ではありません。「この国の生き方を決める力は 私たち国民だけにある そのことをいま 世界に向けてはっきりと言い この国の大切なかたちを 憲法にまとめることにする」（本文より）私たちの生き方と深く関わっている憲法のことを考えてみませんか。

◆学校図書館からお知らせ◆

- ・夏休み貸出の本は、9/8（金）が返却期限となっています。返却ボックスもご利用ください。
- ・図書館内の書棚の移動をしています。しばらくご迷惑をおかけします。探している本が見つからないときは、いつでも声をかけてくださいね。
- ・1学期に入った新着本は、図書館の入り口に近い低い本棚（以前1類があったところ）に配架されています！

『命のうた ぼくは路上で生きた十歳の戦争孤児』

竹内早希子 著 童心社 <210/タケ>

10歳のときに神戸空襲で親をなくした山田清一さんの半生を中心に、一緒に路上で生きた戦争孤児の仲間たちの声なき声をすくい上げる、渾身のノンフィクション。第二次世界大戦後、日本全国に12万人以上いたといわれる戦争孤児。どうして彼らは野良犬と呼ばれ、つらく悲しい体験をしなければならなかったのか。なぜ、大人たちは助けてくれなかったのか。

国同士の戦争が終わっても、終わることなく続く悲劇がある。路上で暮らした過酷な日々の記憶を、話したくはない。でも、今話さなければ、誰が仲間たちの声を伝えるのか…。

（一部童心社ホームページより引用 <https://www.doshinsha.co.jp/>）